Okuyama Conservation National Trust Newsletter

トラストだより 31号

公益財団法人 奥山保全トラスト会報　VOL. 31／2024. 8. 31

元旦の能登半島地震後初めての石川県白山トラスト地(22ha)調査。崩れなしを確認。(2024. 7.25. 熊森石川県支部撮影)

自然災害大国の日本で森を守る

理事長　米田 真理子

ようやく夏も盛りを過ぎました。皆様におかれましてはますますご壮健にてお過ごしのことと存じます。当財団が所有している22カ所のトラスト地のうち、天然林化が必要な人工林が含まれているトラスト地では、職員や地元ボランティアたちが、この暑い中も現地調査や天然林化事業に取り組み、地元森林組合と今後の森林整備について打ち合わせるなどの活動も続けました。

能登半島地震時、震度5弱だった石川県白山トラスト地には、7月末に地元ボランティアの方々が調査に入ってくださいました。トチやブナ、ミズナラなど様々な広葉樹が眩しい日差しを遮り、葉の蒸散作用もあって、森の中は涼しく快適。倒木や山崩れは一切なかったという報告をいただきました。この方々は、5月に能登半島にも現地調査に行かれています。地震により、能登の風力発電は73基が全て停止。ブレード(羽根)が折れ曲がったり、落下しているのもあったそうです。切土盛り土を施して山の斜面に設置した太陽光発電施設では、ソーラーパネルごと山が崩れて家が押しつぶされていたそうです。再エネ施設が地震に対して脆く、さらにいったん壊れれば人間にさらなる被害をもたらすことを示しています。地震や台風、豪雨など、自然災害の多い日本。森林は開発するのではなく、自然のまま保全すべきと改めて実感しています。野生動物や人の命を守るためにも、災害に強い、豊かな森を我が国に残していかねばなりません。私たちは今後も水源の森のトラストに全力を尽くしてまいります。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いします。

当財団の活動にご賛同いただき、支えてくださる会員様を募集しています。
活動を広げていくために、ご支援・ご寄附をお願い申し上げます。

VISA MasterCard

ホームページから
お願いします。

https://www.okuyama-trust.org/**ご入会-ご寄附**/

※太字部分は日本語入力です。
ＱＲコードはこちら→

財団所有トラスト地　全国２２か所
合計面積２，５３９ha

～森を守り、水を守り、命を守る～　公益財団法人奥山保全トラスト
〒662-0042 兵庫県西宮市分銅町1-4 熊森ビル3階　電話・FAX 0798-34-0980

～森を守り、水を守り、命を守る～

第4回あつトラ報告

トラスト地が3か所もある岐阜県を特集！

6月23日オンラインイベント「第4回あつトラ」(あつまろう奥山保全トラストへ)を開催。青森、群馬、岐阜、埼玉、神奈川など各地から30名の方がご参加。

今回は「岐阜県特集」ということで同県の3か所のトラスト地を紹介しました。いずれも全山、クマたちが棲む自然豊かな水源の森です。

奥飛騨トラスト地ツアー

根尾越波トラスト地看板設置

①「奥飛騨トラスト地」 82ヘクタール 2006年取得。中部山岳国立公園内奥飛騨温泉郷に位置し、今も噴煙を上げている活火山焼岳に近い。2023年にツアー実施。皆で紅葉を楽しむ。

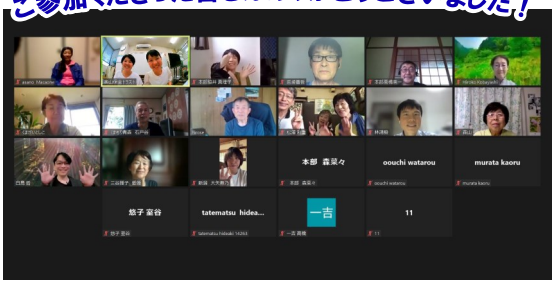
②「白川郷トラスト地」 43ヘクタール 2017年取得。

世界遺産の白川郷合掌造り集落から徒歩数分。購入当時、調査に入った際に、職員たちがクマと遭遇！岐阜県水源地保全条例指定地域内。2017年にツアー実施。

③「根尾越波トラスト地」 232ヘクタール 2018年、2019年の2回に分けて取得。

国策であった奥山人工林化の中、強い意思で自然の森を守り抜いてきた山主さん。そのご意向を当財団が引き継いで、永久保全を約束して購入。

協力団体の日本熊森協会岐阜県支部の皆さんが、調査などに入ってくださっている。2020年にツアー実施。


ご参加くださった皆さんありがとうございました！

白川郷トラスト地調査

オンライン参加者の皆さんとの交流

後半は参加者のみなさんと意見交換。トラスト候補地(10ヘクタール以上)の見つけ方、どうやって若い世代に森を守る大切さ伝えるか、登山道が消えないよう、時々山に人が入った方がいい等、活発な意見が出されました。

◎今年秋のトラスト地ツアーは京北トラスト地 16ヘクタール 2006年取得

●ツアー下見

今年、11月10日(日)の第10回トラスト地ツアーで訪れるのは、京都府京北(けいほく)トラスト地です。6月1日、ツアーの下見に行ってきました。国道162号線から細い林道に入り、車を停めてトラスト地まで約20分間ほど歩きます。ここ何年かの大水によって、道に倒木が覆いかぶさったり、道だったところが沢になったりしていました。

●皆伐された人工林部分を、動物のえさ場となる広葉樹林に再生

このトラスト地では、熊森京都府支部のメンバーたちが、人工林部分の一部皆伐跡地にドングリ類の苗木を植えて、元来の動物たちの餌場に戻そうと、16年間にわたって作業を続けてくださいました。シカの食害や豪雪から苗木を守る為の努力は並大抵のものではなかったようです。

現在、43本の苗木が樹高3mを超えるまでに見事に成長しており、クリ、ナラガシワ、オニグルミには、実も付くようになりました。森の再生に一定の成果が出たということで、2022年に作業を終え、以後経過を見守っているところだそうです。2年前、自動撮影カメラを掛けたところ、周辺に若グマも写っていたということです。目の前の風景に感動しました。

他にも台スギの巨木など、自然と共生していた祖先の林業跡も見ていただき、北山杉で有名な林業の町、京北町で林業についても学んでいただきます。

オニグルミの実がついています

トラスト地取得・管理資金等にご協力ください

・ゆうちょ銀行振替口座 00920-4-305993
(口座名) 公益財団法人 奥山保全トラスト